

# 関東大震災（死者 105,385）M7.9

## 災害史上最大の犠牲者となる！

★今から 99 年前の大正 12 年 9 月 1 日（土）11 時 58 分、相模湾北部を震源とする海溝型の巨大地震が発生、火災により観測史上最大規模の犠牲者となった。東京市域 40% 以上が焼失、東京全体の人口 60% が被災すると予想もできない大災害に見舞われた。

### 被害拡大の要因

★ 本震 M7.9 余震 7.2、7.3、その後 7.1 7.6 7.1 と揺れが 6 度発生した。  
本所の被服廠跡（現在の墨田区）の 2 万坪の空地に多くの人々約 4 万人が家財とともに溢れ、火が四方から襲いかかり、家財に引火し、更に思いかけぬ大旋風（火の竜巻）も巻き起こって、全員が逃げる間もなく推定 3.8 万人が焼死した。更に 5 万人の命が一夜で失われた。地震発生が昼食時と重なり、当日は強風で火災が短時間に延焼拡大した。

### 主な建物の倒壊・焼失

- **東京倒壊**：稜雲閣（浅草十二階）・建設中だった丸の内の内外ビルディング作業員 300 名圧死。東京市大手町の印刷局（内閣の外局）紙幣印刷設備 730 台含む全面倒壊
- **焼失**：大蔵省・内務省・外務省・警視庁・東京帝大・帝国劇場・日本橋三越本店・歌舞伎座・神田神保町や帝大図書館・松廼舎文庫・大倉集古館
- **横浜倒壊**：官公庁やグランドホテル・オリエンタルパレスホテル・郡役所・停車場などを含む全ての建物全壊・測候所と旅館が亀裂の中に陥没
- **横浜焼失**：外国領事館のすべて焼失・工場・会社事務所も 90% 近く焼失・気象台本館

## 地震直後火災 136 件・被災者 190 万人・東京の街焼野原の惨状

被害総額  
現額 150 兆円  
東日本大震災の 10 倍



# 防災士スキルアップ研修 No.1 一次救命処置改正点とコロナ禍対応

石垣辰夫

日時：令和4年9月23日（祝・金）午前10時～12時10分

場所：東特会館4階会議室

主催：NPO法人愛知県防災士会・防災士スキルアップ研修

演題：＜実技＞一次救命処置改正点とコロナ禍対応

講師：羽田道信氏 防災アドバイザー・藤田医科大学特任教授



NPO法人愛知県防災士会では、救急救命処置の心肺蘇生AEDの実技研修会を開催し、会員38名が参加した。講師より救急蘇生法の主な変更点等を解説されてから実技に入る。AEDと訓練用人形6セット（大人用）を用意、1セットに5～7人で講師指導により実技を学んだ。

## ★人が倒れた時に救急隊が来るまでの対応

心臓が止まると、呼吸も止まります。倒れている人が心停止の状態になったら、AED（自動体外式除細動器）による電気ショックと、心肺蘇生を行います。

- 1 周囲の観察 安全無し
- 2 傷病者の観察 大出血等なし
- 3 意識の観察 反応なし
- 4 協力者の要請 誰か来て下さい・119番通報、AED持ってきて下さい。
- 5 呼吸の確認 普段どおりの呼吸無し
- 6 胸骨圧迫（心臓マッサージ）30回、胸が約5cm沈むまで1分間に100～120回
- 7 人工呼吸 2回（1回1秒）、連続2回、人工呼吸はコロナ禍の為、実施無し。
- 8 コロナ対策 マスク・消毒・距離を置いて対応・レジ袋等で感染しないように。★

命を守る心肺蘇生法・AEDを上記の順番に実技を体験した。参加者の多くは防災に感心がある方が多く体験コーナーが大いに盛り上がりました。みんなで協力しながら大切な命を守りましょう。



【AEDコーナー・講師：羽田道信氏】



【受付で防災士頒布品の販売を行う】



## 防災士スキルアップ研修 No.2 午後1時～2時

演題：災害時に起こる心的行動（災害心理）

講師：原田 友子 愛知県防災士理事

午前の心肺蘇生の実技に続き午後の1番目は  
命をつなぐ防災「災害時の人間の心理」について講演

演題に入る前に参加者全員に目を閉じてもらい、物理学者で夏目漱石の弟子でもある寺田寅彦氏のメッセージ「天才と国防」の一節を朗読して講演を始めた。

「文明が進めば進むほど天然の猛威は劇烈の度を増し、被害が大きくなる… 中略  
堤防を高くすればするほど小さな災害は防げるがいったん破綻すると  
逆に甚大な被害を出す…」

寺田氏の指摘の通り、福島第一原発では非常用発電機が作動しなかっただけで、全世界が震撼するような事態となりました。

朗読後は、阪神・淡路大震災と午後で家族がそれぞれバラバラの東日本大震災での出来事を被災者の方々の声でまとめた。

次に災害が起きた時の人の考えと動きを資料とプロジェクターで深く掘り下げ  
説明、災害関連死にも注意

最後に精神衛生を保つための人間の本能である正常性バイアスにより、  
災害時に逃げ遅れてしまう危険のある事を今一度次の5項目のペーパーで確認した。

- ① 「大丈夫、自分は危険ではない！」 → 「正常性バイアス」
- ② 「え～どうしよう！」 → 「凍り付き病」
- ③ 「貴重品を取りに戻る」 → 「戻ってしまう病」
- ④ 「みんながいるから大丈夫」 → 「多数派同調バイアス」
- ⑤ 「もういいよ。死ぬときは死ぬんだ」 → 「あきらめる病」

次に一人でも多くの方が助かるための防災ソングNHKの「こわがりヒーロー」  
子ども達には身近な人の命を守るパワーがあるとして作られた歌を歌って  
終了しました。

### 災害時の人間の心理

#### 「危険スイッチが入るとき」

- ① 本当に危険が目の前に迫ってきたときには、頭の中のスイッチが「日常」から「非日常」へと切り替わります。
- ② では、何がスイッチを切り替えてくれるのでしょうか。異変を目の当たりにすると、危険だと判断せざるをえなくなります。しかしながら、そうなったときには手遅れになっている場合も少なくありません。



# 防災士スキルアップ研修 No.3 午後2時10分～3時40分

講師：広瀬一行 防災アドバイザー

演題：地元の防災訓練や講演会で使用できるクイズ

広瀬氏の講演は、日頃から地元で数々の活動をしておられ、楽しく多くの方が参加出来る防災をと尽力しておられ、今回は「防災クイズ 小学生向け」と、「なまずの学校」の発表となりました。

小学生向けの防災動画は可愛らしい妖精が大魔王に連れていかれてしまい、それを救う防災クイズとなっておりアニメ動画でわかりやすく災害への備えのできる内容となっております。



「楽しく！早く！行動すること」を学ぶように出来ている。

講師になって使う方法を詳しく説明されて、中学生、高校生、中級編とある内容のUSBメモリーによる講座の講習データを参加者の希望者に配布されました。

## ゲームの説明

**Q1**

地震の大きな揺れで家がぐずれ、  
こともが下敷きになりました。  
助け出すのに使えそうな道具を  
50枚のカードの中からさがして  
下さい。

問題により、選ぶカードは  
1枚だけではありません  
※考える時間は**2分間**です！

解答用紙にカードの名前を書こう



## Q1

なまずの学校

地震の大きなゆれで家が崩れ、  
中にいた人がタンスの下敷きになり、  
動けなくなってしまいました。

下敷きになった人を助け出すのに  
使えそうな道具を出してください。

## 中部地区初の「防災検定」開催

伊藤知恵

私は、一般財団法人・防災教育推進協会（東京本部）の東海支部長に今年度任命され、令和4年9月17日、中部地区初の「防災検定」を一般向けに名古屋市内で5会場設け開催しました。初回という事で周知にもっとこうしたらよかったと反省点もありますが、今回は91人が挑戦されました。（次回受験希望者、本のみ購入される方が16人おみえでした）

受験年代は小学3年生から70代まで幅があり、個人だけでなく企業の申込みも5社（上場企業含む）あり意義のある開催となりました。

当協会の理事長である山岡耕春先生は、名古屋大学大学院環境学研究科地震火山研究センター教授であり、地震予知連絡会会長で、TBS「日本沈没～希望の人」及び映画「日本沈没」の監修者であります。山岡会長はじめ、研究者達がこれからの地震対策には子どもの力が必要、大人・子どもが防災と減災に深い興味・関心を持ち、意識を高める事が出来れば、幾多の災害による悲劇を繰り返すことなく、災害時の犠牲者の極小化に資するものと検定を推し進めています。検定は自身の自助のものさしであると位置づけています。1級から5級まで難易度により6コースに分かれています。

今回初の取り組みで企業参加という、十分手ごたえのあるものでした。個人に留まらず社員の日々の意識改革として、役員が受験される会社もありました。会社の後ろには社員、社員の後ろには家族がいます。個人だけではなく企業がどう？減災に向き合うかが大きな分かれ道であると感じています。

今までは、東京に来られて受験の方もみえましたが、今後は東海支部が試験を開催していきます。次回は令和5年3月19日（日）です。名古屋市防災センターを始め、数カ所開催場所を設けます。自助のものさしとして・・・受験、チャレンジしてください。

防検（冒険）しよ～!!



### 「編集後記」

防災士スキルアップ研修も今回は1日を3回のテーマで参加者の皆さんが地域で活動できる内容となるようにと企画され次回への期待。

自己研鑽をされた石垣氏の記事と、防災検定への挑戦をされた伊藤氏の記事を掲載しました。（友）

## 名簿開示のお知らせ

本年度はブロック活動の充実のため、名簿開示に同意をいただいた会員の方にブロック別名簿を作成しお送りしています。8月に名簿をお送りしましたが、今後も連携を強化するため、名簿開示のお知らせを継続してまいります。名簿開示にご同意いただける会員の方は①ご住所②お名前③メールアドレス④電話番号の内、開示できる項目を下記の事務局までお知らせください。また、今回名簿が同封されている会員様は前回から更新または訂正をしたものですので、前回のものとは差し替えをお願いします。名簿は重要な個人情報ですので、お取扱いには十分にご注意いただくことを合わせてお願い申し上げます。

名簿に関するお問い合わせ先  
NPO法人愛知県防災士会  
事務局 槌岡 宏行  
Tel 090-6077-8313

投稿  
募集

「会員の活動通信」では、会員の皆さんが日頃より実践している防災活動のノウハウなど防災に関する情報を募集しています。下記のアドレスまでお寄せください。お名前、ご連絡先、防災登録ナンバーをご記入の上、ご投稿ください。  
[gogobousai@gmail.com](mailto:gogobousai@gmail.com)

### ～日本防災士会会員の活動理念～

- 第1 日本防災士会会員（以下「会員」という）は、地区防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与することを活動の基本理念とする。
- 第2 会員は、地区の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策等、地区防災活動計画の策定・実施に関し、指導的役割を果たすものとする。  
そのために、次の事項に積極的に取り組むものとする。
  - 1 会員相互のネットワークを構築し、協力関係を確立すること。
  - 2 地区防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研さんに努めること。
  - 3 自治体との緊密な連携を図ること。

## ～日本防災士会 倫理規定～

### 第1条（使 命）

会員は、社会の防災力向上を目指す者として、その名誉を重んじ、社会的信頼が得られるよう努めなければならない。

### 第2条（研 鑽）

会員は、日本防災士会及び自己の活動に対する批判、評価等に謙虚に受け止め、自己の研鑽につとめるものとする。

### 第3条（公平不偏・客観性）

会員は、自己の利益や特定の者の利己的な要求に迎合することなく、常に防災に対する啓発と被災者支援の立場で公平不偏な姿勢で取り組み、客観的かつ総合的に判断し行動する。

### 第4条（相互協力）

会員は、防災活動に積極的に参加し、情報と経験を共有し相互に協力しあい、誠意をもって遂行する。

### 第5条（名誉と信義・自律）

会員は、常に防災知識に対する自己研鑽に努め、技術の向上により防災士としての名誉を重んじ、公平無私の立場で、専門的で且つ規律ある態度で行動し、いやしくも信義にもとるような行為を行ってはならない。

1.会員は、日本防災士会や防災士に対する信用を損ねかねない行動を行ってはならない。

### 第6条（秘密保持）

会員（退会後も）は、他の防災士並びに活動中に知りえた個人情報などを漏らしてはならない。

### 第7条（地位利用の禁止）

会員は、自己の立場を利用して自己また第三者の利益を図るような行為をしてはならない。

### 第8条（通 知）

会員は、他の会員にこの倫理規定に違反する行為があり、あるいはその疑いがあることを知った時は、日本防災士会に通知する。

### 第9条（再発防止）

会員は法令、社会規範を守り違反行為の再発防止に努めなければならない。

### 第10条（倫理審査会の設置）

会員に会則、倫理規定に違反する行為があった場合は会則第10条の専門部会に準拠する方法で倫理審査会を設置する。

### 第11条(規定の改廃)

この規定は、幹事会の承認を得て改廃することができる。

(附則) この規定は平成20年6月8日より施行する。



NPO 法人 愛知県防災士会  
広報委員会 編纂

〒453-0013

名古屋市 中村区 亀島 1丁目 11-14

東特会館内